

「モノ認識」と「モバイル」を中心に  
IoTで世界を変える

IoT × AsReader®  Digital  
Transformation

2023年8月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2023年4月14日



◆本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

◆別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

◆当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

**第一部：第17期（2023年8月期）第2四半期業績報告**

- （1）連結業績**
- （2）セグメント別業績**
- （3）地域別業績**
- （4）K P I**
- （5）株式関係**
- （6）研究開発施設 竣工**

**第二部：その他企業情報**

- （1）業績予想修正**
- （2）直近のリリース情報**
- （3）直近の展示会出展予定**



# 第一部：第17期（2023年8月期）第2 四半期業績報告



## (1) 連結業績

---



## 【損益状況】 2023年8月期第2四半期業績予想比 (百万円)

	2023年8月期 第2四半期 (業績予想)	2023年8月期 第2四半期 (当期実績)	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,056	869	▲ 186	—
売上総利益	414	308	▲ 105	—
売上総利益率	39.2%	35.5%		
営業利益	▲ 0	▲ 38	▲ 37	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	5	▲ 12	▲ 18	—
当期純利益率	0.6%	—		

### ■売上高

バーコードリーダー及びアクセサリー類、ハード保守、受託開発の販売が進みましたが、予定していた案件が来期にずれするなど、当初の業績予想から186百万円減の869百万円の結果となりました。コロナの影響による企業の設備投資の減速やRFIDなどの新分野への対応減速なども世界各国でありましたが、落ち着いてくる兆しもあり、今後の動きは慎重に見極めていきたいと考えております。

### ■売上総利益

売上高が業績予想を下回ったこと及び原価率が悪化したことにより、業績予想から105百万円減の308百万円の結果となりました。

### ■営業利益

販売費及び一般管理費の改善（主に人件費）があったものの、売上高及び売上総利益の減収減益があり、業績予想から37百万円悪化の▲38百万円の結果となりました。

### ■親会社株主に帰属する当期純利益

業績予想から18百万円悪化し、▲12百万円の結果となりました。

## (参考) 2023年8月期第2四半期前年同期比較

(百万円)

	2022年8月期 第2四半期 (前期実績)	2023年8月期 第2四半期 (当期実績)	(前年同期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,373	869	▲ 503	▲36.7%
売上総利益	614	308	▲ 306	▲49.8%
売上総利益率	44.8%	35.5%		
営業利益	278	▲ 38	▲ 316	—
営業利益率	20.3%	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	175	▲ 12	▲ 187	—
当期純利益率	12.8%	—		
人件費	155	177	22	14.6%
減価償却費	7	14	6	85.7%
研究開発費	15	5	▲ 9	—

### ■前年同期比較について

前期（2022年8月期第2四半期）については、海外大手飲料メーカー向けの大型納品やRFID関連の特需案件があったことが1つの要因でした。これらの案件は、今期（2023年8月期第2四半期）も継続してあると予想しておりましたが、世界的な設備投資の控えなどもあり延期などが続いており、また同規模の納品や特需が受注しきれなかったこともあり、前年同期比36.7%減の869百万円となりました。

### ■その他

#### (1)人件費

前年同期比において人員が増加している影響によるものであります。

#### (2)減価償却費

2023年1月に研究棟が完成し、当該物件の減価償却費が発生したことにより増加しております。

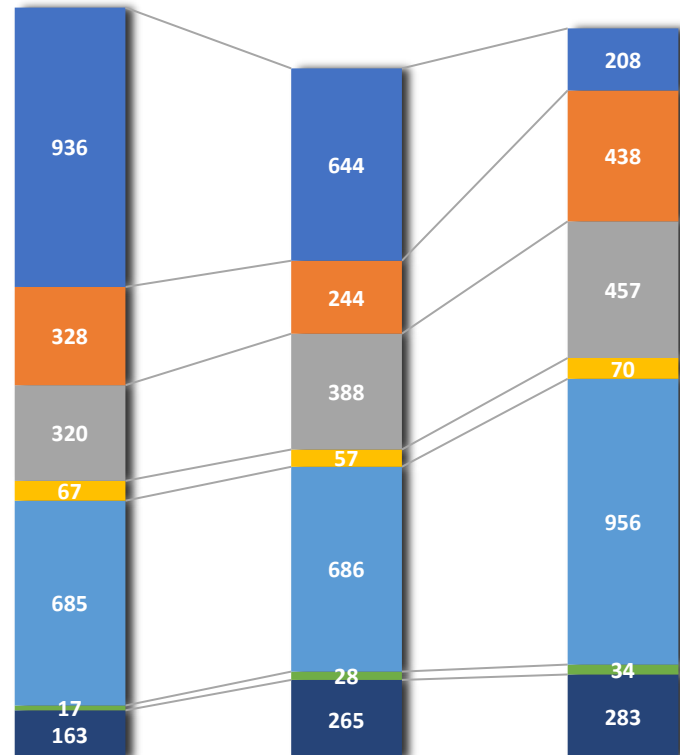
#### (3)研究開発費

画像認識技術関係の研究開発費の支出によるものであります。

## 【連結貸借対照表】 2023年8月期第2四半期

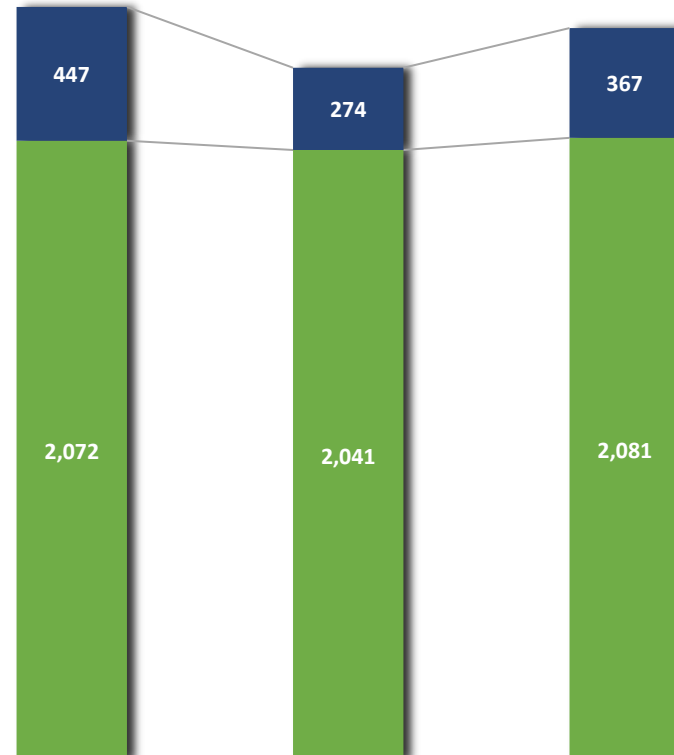
### (1) 資産

(百万円)



### (2) 負債及び純資産

(百万円)



#### 【(1) 資産関係】

- ① 現金及び預金の減少  
研究棟建設資金の支出 285百万円
- ② 有形固定資産の増加  
研究棟完成に伴うの増加 260百万円

#### 【(2) 負債及び純資産関係】

- 負債の増加
  - ・ 買掛金の増加 68百万円
  - ・ 短期借入金の増加 20百万円

■ 投資その他の資産    ■ 無形固定資産    ■ 有形固定資産  
■ その他流動資産    ■ 棚卸資産    ■ 売上債権及び契約資産  
■ 現金及び預金

■ 純資産    ■ 負債



## 【連結キャッシュ・フロー計算書】2023年8月期第2四半期

	(百万円)			
	第14期	第15期	第16期	第17期2Q
	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期2Q
営業キャッシュ・フロー	10	380	300	▲ 346
投資キャッシュ・フロー	▲ 56	▲ 303	▲ 518	▲ 411
財務キャッシュ・フロー	119	16	780	40
手許資金残高	247	348	936	208

### 【2023年8月期第2四半期実績】

#### ① 営業キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失21百万円、売上債権減少による資金減少111百万円、棚卸資産増加に伴う資金減少137百万円、法人税等の納税支出87百万円が主な内訳になります。

#### ② 投資キャッシュ・フロー

研究棟建設資金の支出285百万円、投資有価証券取得による支出101百万円が主な内訳になります。

#### ③ 財務キャッシュ・フロー

新株予約権の権利行使による収入20百万円、短期借入金の純増加20百万円が主な内訳になります。

### 【2023年8月期通期資金繰りについて】

2023年3月31日公表の業績予想修正のとおりに、2023年8月期通期業績予想の下方修正を行いました。2023年8月期に資金不足が発生した際には、金融機関との当座貸越による調達を予定しております。

## (2) セグメント別業績

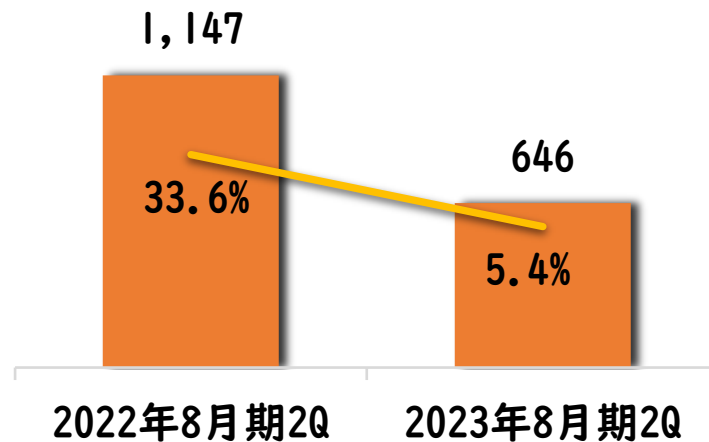
---



## 【セグメント別業績】

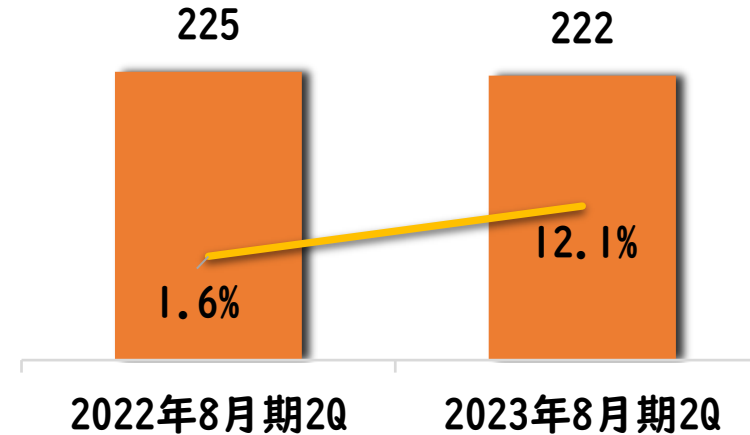
AsReader事業 (単位：百万円)

■売上高 ■セグメント利益率



システムインテグレーション事業 (単位：百万円)

■売上高 ■セグメント利益率



### ■AsReader事業

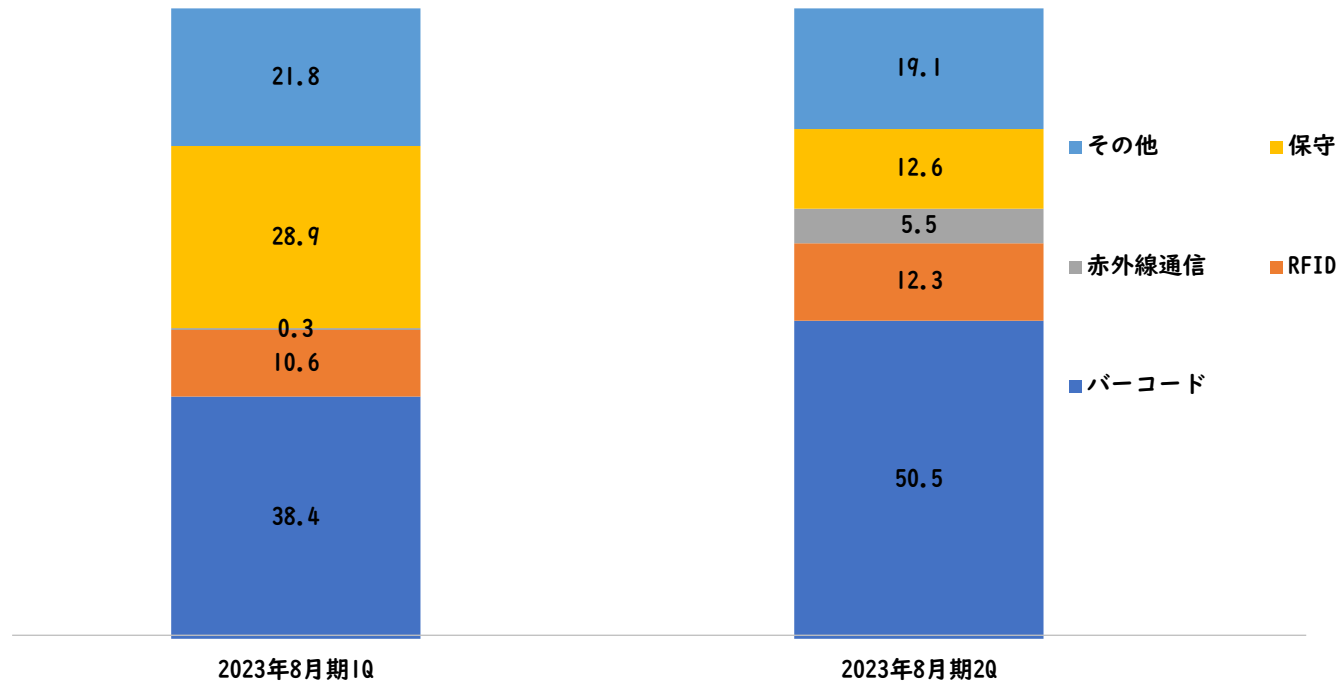
前期（2022年8月期第2四半期）については、海外大手飲料メーカー向けの大型納品及びRFIDの特需案件があったことが大きなプラス要因でしたが、当期（2023年8月期第2四半期）においても、その案件が継続すると見込んでおりましたが、それらの計画が延期されたこと、また、それ以外の大型案件や特需案件が受注しきれなかったこともあり、売上高は前年同期比43.6%減の646百万円となりました。

### ■システムインテグレーション事業

前期（2022年8月期第2四半期）は不採算案件が発生していたことによるものです。  
当期（2023年8月期第2四半期）はそれらの不採算案件を正常化させるとともに各案件が順調に進捗しており、セグメント利益率が10.5ポイント改善しております。

## 【AsReader事業 製品種類別の販売構成推移】

(構成比率：%)



### ■製品種類別の販売構成推移

2023年8月期第二四半期においても、前期から引き続き、バーコードリーダーの構成割合が多い結果となりました。これらは、既にある市場での専用機からのスマートフォンへの置き換え需要であり、2023年8月期通期においてもバーコードリーダーの販売割合が多くなるものと予想しております。

また、自動販売機での赤外線通信リーダーは、当社がシェアを押しえつつあり、これから伸びてくるものと予想しております。

店舗系企業がコロナ開けから業績回復してくるにより、世界的にRFID案件や画像認識案件なども増加すると考えております。また、画像認識技術のサービスも、これからリリースを実施していきますので、それらも今後を増やしていきたいと考えております。

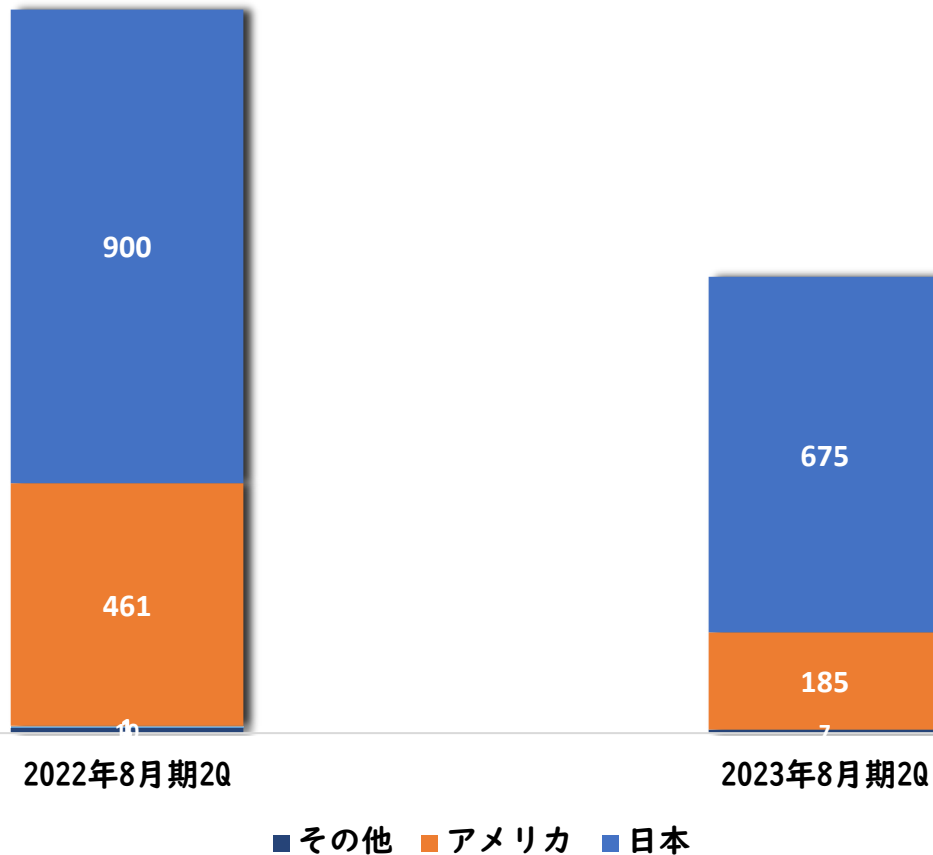
## (3) 地域別業績

---



## 【地域別売上高】

(単位：百万円)



### ■日本

企業の設備投資の控えなどにより、予定していた大型案件が来期（2024年8月期）にずれることなどが要因で、前年同期比▲25.0%となりました。

### ■アメリカ

前期（2022年8月期）は海外大手飲料メーカー案件の大型納品がありましたが、当期（2023年8月期）も継続を見込んでおりましたが、それらの延期、また、その他の同規模の納品が受注しきれず、前年同期比▲59.8%となりました。

### ■その他

欧州、中国での販売になります。欧州は、欧州各国への代理店施策を進めておりますが、コロナの影響等で進まずでした。

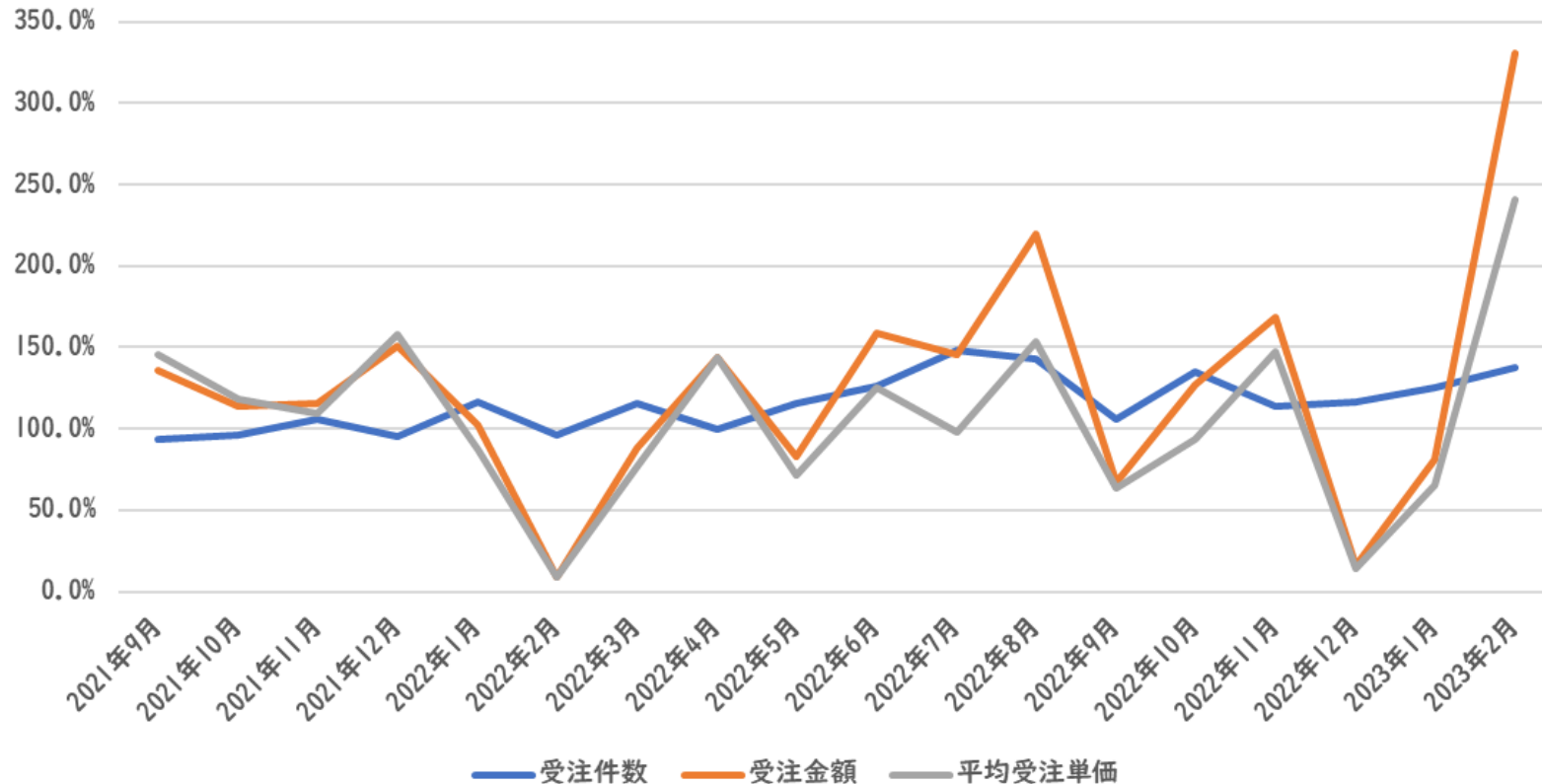
(注) アメリカ、欧州、中国の売上は決算月のズレの影響で7月から翌年6月までの実績で連結財務諸表を作成しております。

## ( 4 ) KPI

---



## 【受注関連情報（前年比率）】



## 【総括】

2022年9月～2023年2月については、受注件数は増加したものの、受注金額と平均受注単価は減少となっており、2022年10月に発表した第2四半期業績予想に対しては未達の結果となりました。受注件数は増加で受注単価が減少ということは、つまりは大型案件が景気等の影響で延期等になったことが原因と考えております。今後はインバウンドの需要が増えることなどからも、特に店舗系の大型案件も進捗していくものと考えております。

## 【受注件数】

期間中、前年同月比を上回る受注獲得を実現しており、結果、2023年8月期2Q時点においては前年比増加で推移しております。

## 【受注金額、平均受注単価】

2022年12月の受注金額の前年比減少の影響が大きく、結果、2023年8月期2Q時点においては前年比増加で推移しております。



## (5) 株式関係

---



## 【大株主の状況】

株主名	2022年8月31日時点		2023年2月28日時点		備考
	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	
トリプルウィン株式会社	3,200,000	45.35%	3,200,000	45.12%	代表取締役 資産管理会社
伊藤忠紙パルプ株式会社	278,300	3.94%	278,300	3.92%	資本業務提携
鈴木規之	162,000	2.29%	162,000	2.28%	代表取締役
野村證券株式会社	122,200	1.73%			証券会社
楽天証券株式会社			121,300	1.71%	証券会社
熊本尚樹	121,000	1.71%	121,000	1.70%	取締役
三菱UFJキャピタル5号 投資事業有限責任組合	120,000	1.70%	120,000	1.69%	ベンチャーキャピタル
株式会社SBI証券	30,446	0.43%	62,130	0.87%	証券会社
薛文宝	60,000	0.85%	60,000	0.84%	執行役員
個人株主様	51,000	0.72%	51,000	0.71%	個人投資家
大川貴之	31,000	0.43%			従業員
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社			47,200	0.66%	証券会社
その他	2,879,454	40.81%	2,868,470	40.45%	2022年8月31日現在 7,069名 2023年2月28日現在 6,319名
合計	7,055,400	100.00%	7,091,400	100.00%	—

## 【株価推移】



・当期第2四半期累計期間（2022年9月1日～2023年2月28日）の株価推移を掲載しております。

・期間中の最高株価と最低株価は次のとおりです。  
 最高株価 1,585円  
 最低株価 1,112円

・更なるチャレンジを実施、長期にわたった業績を意識した経営を行い、市場から適正な評価をいただけるように活動を実施してまいります。

## (6) 研究開発施設 竣工

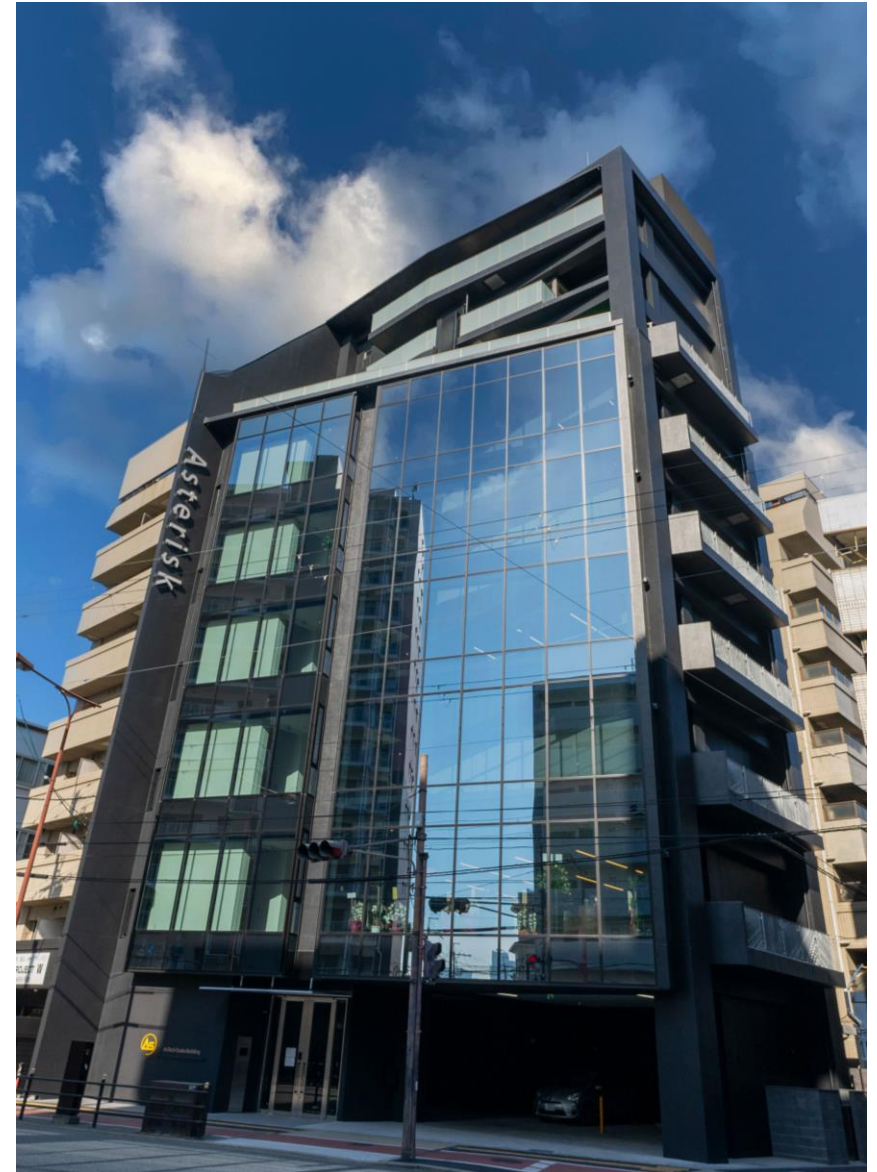
---



2023年1月14日に引き渡しを受け、2023年2月4日から営業を開始しております。

新社屋は、画像認識技術（人追跡技術）に関する機械学習や、それらの稼働テストの実施しやすさを意識した設計をしており、現在、今後に発表していく新製品を開発しております。

また、同時に働きやすい環境をコンセプトに、社員同士がコミュニケーションをとりやすい環境や、吹き抜けを通じた開放的な間取りを採用し、業務効率の向上を図るとともに、研究開発の拠点としてアイデアを進化させられるように設計いたしました。これからも、社員同士でアイデアを出し合いながら、技術、品質、サービスの向上を目指していきます。



## 第二部： その他企業情報

---



## (1) 業績予想修正

---



### 【損益状況】 2023年8月期通期業績予想修正

(百万円)

	2022年10月14日発表 2023年8月期 通期業績予想	2023年3月31日発表 2023年8月期 通期業績予想	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,906	1,821	▲ 1,085	▲ 37.3%
営業利益	443	▲ 137	▲ 581	—
経常利益	443	▲ 133	▲ 577	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	314	▲ 144	▲ 458	—

#### ■業績予想修正要因

2022年10月14日公表の連結業績予想に対して大幅に悪化する見通しとしました。これは、2022年10月14日公表の連結業績予想策定時に見込んでいた案件に対し各国別につきの事象が想定されるため、通期の業績予想を下方修正することいたしました。

- ・米国子会社においては、前年からの大型案件の継続が延期されたことや、店舗系企業におけるRFIDなどの新規大型案件の検討の長期化に伴い受注獲得の進捗が遅れたこと
- ・オランダ子会社では、事業立ち上げが遅れており計画していた代理店交渉が難航していることや、案件の失注が続いたこと

- ・日本において獲得を見込んでいた物流業界向けの大型案件の顧客導入スケジュールの延期に伴う進捗の遅れや、AndroidタイプAsReaderの開発が遅れたことにより、当期中の業績への貢献が見込めなくなったことと、パートナー企業との業務提携での成果として見込んでいた新規事業（「顔認証」技術を活用した新製品）について2023年2月からのサービス開始を計画していたものが、ハード及びソフトウェアの最終調整に時間を要し開発遅れが発生しており、当該製品の当期中のサービス開始を予定しているものの本格的な販売、サービス提供による業績への貢献が翌期以降にずれ込むことが確実視される状況

#### ■今後の展開

今後につきましては、遅れている新規事業の立上げを早期に実施し、かつ、海外事業の展開拡大を進めるとともに、国内において進行している物流業界、自動販売機メーカー、小売業界向け等の大型案件の納入に向けて傾注する所存です。



## (2) 直近のリリース情報

---



### 【導入事例】コンフェックス株式会社様のインタビューページを公開

OCRによる日付チェックアプリ導入で検品精度が劇的改善!!

国内外の1,000を超えるお菓子メーカーの商品を取り扱い、スーパーやドラッグストア、コンビニなどの小売店様に日々お菓子を届けているコンフェックス様。

その事業の基盤となっており、全国に42ヶ所ある食品物流センターにおける業務品質の高度化を検討している中で、小売店様へ出荷する際の賞味期限管理のシステム化を希望され、この度、バーコードリーダー(AsReader ASR-010D)とOCR アプリ(CAMERA-Type OCR)を活用しておこなう、賞味期限管理システムをご導入いただきました。

ハードとソフトの両面からサポートできるアスタリスクならではのソリューションにより、食品物流センターの業務効率の改善に寄与しています。

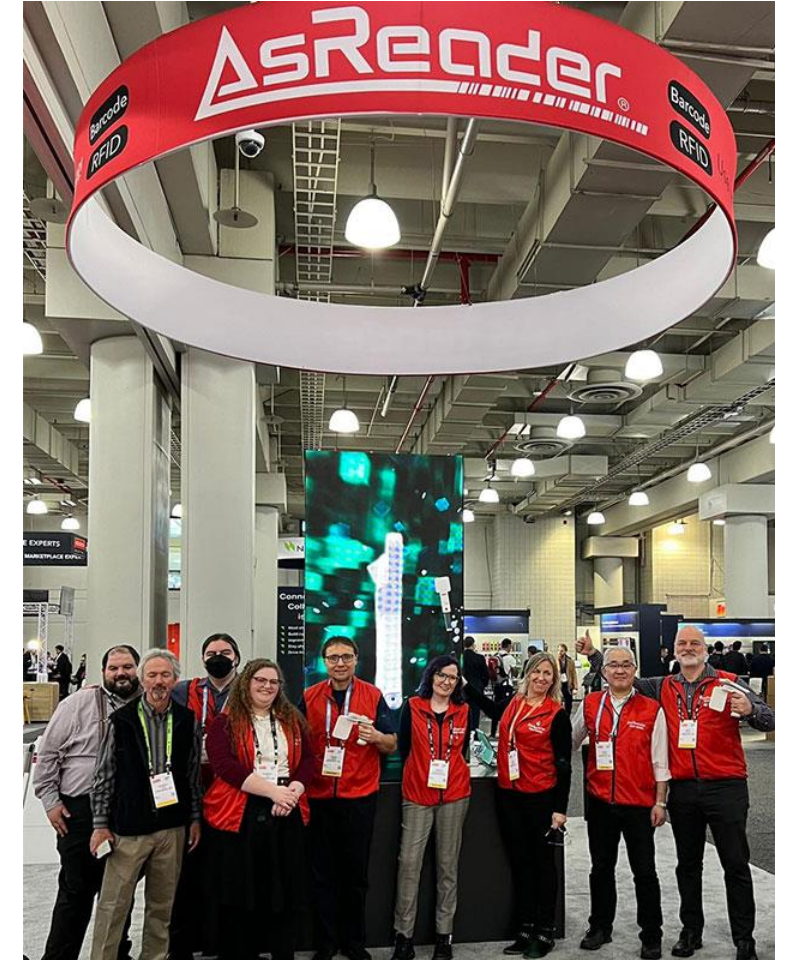


# 全米小売業協会（NRF）年次総会「NRF2023:Retail's Big Show」に出展

2023年1月15日から17日まで、アメリカ ニューヨーク市内のJavits Centerで開催された、全米小売協会（National Retail Federation）が主催する年次開催展示会「NRF Retail's Big Show（以下：NRF）」に、当社グループのアメリカ現地法人であるAsReader, Inc.が出展しました。

RFID AsReaderリーダーライターを中心に、高所での読み取りが可能になる円偏波が特長の「PADDLE-Type」を使った棚卸しや、PT Nextと共同で開発したRFIDリーダーとアンテナが内蔵された「スマート・ジュエリー・トレイ」での商品管理、日本ではお馴染みのRFIDセルフレジをご紹介しました。

また、ニアフィールド・アンテナを搭載したプロトタイプの「AsCube」で、RFタグがついた鍵などの管理が、手軽にできるソリューションを展示。



### リテールテック JAPAN 2023に出展

「スマートストア」をテーマに最新の画像認識を活用したソリューションを提案

2023年2月28日(火) ~ 3月3日(金)に開催される「リテールテック JAPAN 2023」(主催:株式会社 日本経済新聞社)に出展します。今回の展示会では「スマートストア」をテーマにしたアスタリスクの最新画像認識技術と、それを活用したソリューションを展示しました。



### 彦根工業高校の成果発表会で当社代表の鈴木が講演

2023年2月22日に滋賀県立彦根工業高等学校で開催された成果発表会において、当社代表の鈴木が「人生成功のコツ、会社設立の勧め」というタイトルで講演をいたしました。

彦根工業高校は、マイスターハイスクール事業として関西で唯一選抜された高校であり、「変化への挑戦 (Challenge for Change)～進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成～」をテーマとして取り組みを実施されております。

成果発表会は、彦根工業高校が令和四年度に課題研究や人材育成を目的に行ってきた様々な取り組みを報告する場として設けられ、ひこね文化プラザ・グランドホールにて開催。来賓を含め、教員、生徒合わせて約600人が集まる大きなイベントでした。

当社は、子供の育成を中心に地域に貢献する活動にも力をいれてまいります。



### The Ants Rugby Clubのボールサポーターに

滋賀県で活動するジュニア（小学生以下）のラグビークラブThe Ants（アンツ）のボールサポーターとなりましたことをお知らせいたします。

当社は高校時代のラグビー部3名で立ち上げた会社であり、「One for All. All for One.」等のラグビーの健全なる精神をもとに会社運営を実施しております。

また、当社は2023年3月より滋賀県において、AsReader BASE（物流拠点）を本格的に稼働する予定であり、それも踏まえて、より一層、滋賀県の地域に貢献したいと考え、今回のスポンサーとすることといたしました。

当社は、子供の育成を中心に地域に貢献する活動にも力をいれてまいります。



# LOGI-BIZ online に取締役 加藤の対談記事が掲載されました！

2023年3月1日付『LOGI-BIZ online』に、FCNT株式会社 営業統括部営業統括部長代理・田中様と、弊社取締役・加藤の対談記事が掲載されました。

従来の専用ハンディターミナルが、なぜ法人向けスマートフォンとスマホ装着タイプ AsReaderに置き換わっていくのか？操作性、将来性、端末性能、コスト面から分析した内容の記事になっています。



比較してみるとよくわかるスマートフォンの強み！

現場ではスマートフォンが便利!!

現場はスマホを求めている!!

スマホがかっこいい!!

従業員満足度アップ!!

研修がいらない!! すぐ使える!

	ハードな利用環境には、これ!	操作性	端末性能 (処理速度)	コスト
スマートフォン + AsReader	◎	◎	◎	○
業務用 Android デバイス	○	△	△	△
業務用 ハンディターミナル	×	×	×	×

高性能な CPU

大量に流通

スマホ出荷台数は、約270倍

スマートフォン国内出荷台数(2020年度)  
32,757,000台  
出典:MM総研

ハンディターミナル国内出荷統計(2020年度)  
119,646台  
電子情報技術産業協会「2020年度ハンディターミナル出荷統計」

AsReader.

# 2023年3月27日発売の宝島社発行

## 「図解でわかる！ 2030年の未来予想図」に掲載されました！

2023年3月27日発売の宝島社発行の「図解でわかる！ 2030年の未来予想図」に、  
当社のRFID技術が紹介され、RFID Reading Tubをご紹介いただきました。

コロナの影響などにより、多くの企業がRFIDの検討が止まっておりましたが、今後は活性化してくるものではないかと予想しております。





三菱UFJキャピタル株式会社様のHP内「“Real Voices”」にて、  
当社代表の鈴木をご紹介します。

三菱UFJキャピタル様は、当社が上場前にも支援していただいたベンチャーキャピタル様  
でもあり、より良い関係性を継続しております。



### 第32回 Japan IT Week【春】に出展

2023年4月5日(水)～4月7日(金)に開催される「第32回 Japan IT Week 春」(主催:RX Japan株式会社)に出展します。今回の展示会では「業務スマート化」をテーマにしたアスタリスクのモノ認識技術を紹介し、それらを活用した業務効率化を推進する弊社の製品をご提案いたします。



# 【導入事例】日本サニパック株式会社様のインタビューページを公開 RFIDで約80%の業務を削減!リターナブルパレット管理

清潔で快適な生活をサポートする「ソーシャルインフラ」を担う企業として、進化し続ける日本サニパック株式会社様。  
その物流過程で使用するパレットを、ワンウェイからリターナブルに切り替えるタイミングでRFIDでのパレット管理を開始。RF タグの読み取りに、当社のAsReader GUN-Typeをご採用いただきました。

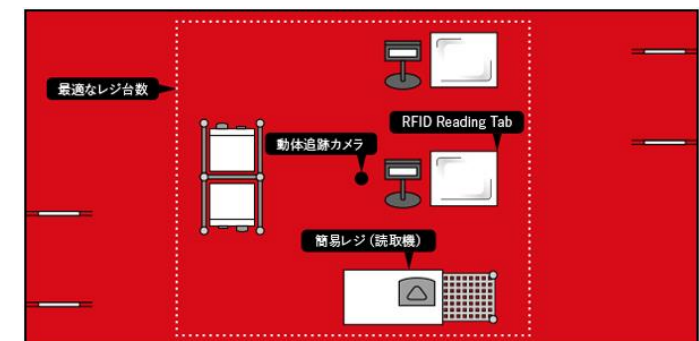
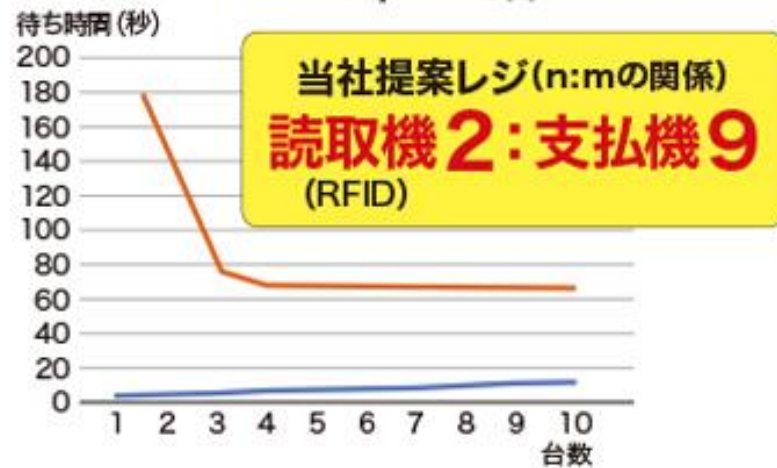


# セルフレジ用「人追跡モジュール」リリース

これまでもレジの混雑解消を目的とした人追跡レジAsRegi+ を実験的展開を実施してまいりましたが、この中での中核エンジンである「人追跡モジュール」をリリースすることにより、多数のレジメーカー様のレジに組み込むことが可能となり、例えばスーパーマーケットでのセミセルフレジや、アパレルでのRFIDレジなどで利用が可能となるものです。

なお、この度、人追跡のレジとして特許査定をいただいたこともあり、積極的な販売へと移行することにした次第です。

■セルフレジで900人/hの場合



# 大型ディスプレイ「シガマド」運用開始のお知らせ

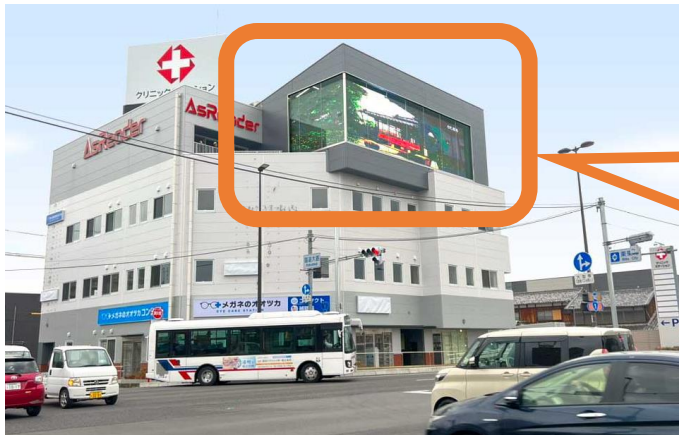
物流倉庫であるAsReader BASEに、大型ディスプレイを設置し、運用を開始いたしました。

この建物は、国道1号線と県道142号線との交差点に位置しており、かなりの視認性をもっております。当社が入る4階部分に設置されてある大きな窓は高度13.5mの位置に、『高さ約4m、長辺幅約18m、短辺幅約5m』のサイズの窓が設置されており、その大きな窓を利用してディスプレイを設置した次第です。

現在、設置は完了し3D映像などを含めてテスト運用をしておりますが、4月20日の開所式から本格的な運用開始といたします。

ここでは、当社の商品やサービスなどのアピールもありますが、周りの地域住民とのコミュニティ的なものとも考えており、滋賀県のシンボリックな役割もできればと考えております。

なお、広告主も同時に募集をしておりますので、映像作成なども含めてお気軽にご相談ください。



### **(3) 直近の展示会出展予定**

---



## 2. (3) 直近の展示会出展予定

### 【国内】

国際モダンホスピタルショウ2023（東京ビッグサイト）

開催期間：2023年7月12日（水）～ 14日（金）

対象：医療系

2023国際物流総合展（東京ビッグサイト）

開催期間：2023年9月13日（水）～15日（金）

対象：物流系



### 【海外】

「HiMSS2023」（アメリカ・シカゴ）

開催期間：2023年4月17日（月）～ 4月21日（金）

対象：医療系

「RFID Journal LIVE2023」（アメリカ・オーランド）

開催期間：2023年5月9日（火）～ 5月11日（木）

対象：RFID業界



## 【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他 I R に関するご意見・ご質問は、「I R お問い合わせ」よりお問い合わせください。

## 【I R お問い合わせ】

(URL) [https://www.asx.co.jp/ir/other\\_info/inquiry/](https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/)

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

## 【メールマガジン開始のお知らせ】

株式会社アスタリスクの決算情報、プレスリリース等の企業情報を配信するメールマガジンの配信を行っております。

配信希望の方は、【I R お問い合わせ】よりご連絡ください。

配信の停止も、【I R お問い合わせ】よりご連絡ください。